別表（別記様式第 13－４号関係）

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

	作成部署名： 富山県農林水産部水産漁港課

目的		産地市場がある北地区に適正規模の給油施設を新設し、地区内３港にある既存給油施設機能の集約化、施設利用の軽労化及び効率化、施設維持管理費の削減により、地区漁業の持続的な発展を図る。			
目標		・地区内施設の集約化 ・漁業者の作業軽労化 ・施設維持管理費の削減		整理番号：03 富山－1	
事業実施主体		魚津漁業協同組合			
実施地区		魚津地区			
実施期間及び目標年度		実施期間		目標年度	
		令和３年度～令和４年度		令和７年度	
助成金額		18,125,000 円			
事業計画の内容		燃料補給用地上型 15ｋＬタンク及び給油設備の設置			
評価	取組の目標（ＫＰＩ）	漁業所得の向上			
	基準年	（令和２年度時点）　●●千円			
	現状値	（令和７年度末時点）　●●千円	増加率	26%	
	目標値	（令和７年度末）　●●千円	増加率	10%	
	成果目標	漁業者１人あたりの年間給油作業時間の削減			
	現状値	（令和７年度末時点）　4.3 時間/年			
	目標値	（令和７年度末）　4.6 時間/年			
	（１）現状値の説明	KPI の現状値は、漁業種類毎に漁業収入及び経費を把握し（漁協調べ）、総収入から総支出を減して得た漁業所得を漁業者数で除して一人当たり漁業所得を算出した。ホタルイカやベニズワイガニにおける漁獲量減も一因とするものの、全体として魚価が向上したことにより、漁業所得は目標を上回った。 成果目標の現状値は、漁業者の現行施設における作業人数に平均作業時間・対象隻数・年間平均給油回数を乗して全体給油労働時間を算出し、それを漁業者数で除すことにより一人当たり作業時間を算出した。施設整備により計画どおり作業人数及び作業時間が削減されたことに加え、省エネ航行による給油回数減の効果もあり、成果目標を達成した。			
	（２）地域への経済効果	施設利用に要する時間や人員の削減により、操業の効率化や漁獲物の鮮度保持の取組みに時間をかけることができるようになったため、深海魚等の低利用魚の安定提供が可能となり、漁協食堂等において新たな需要が創出された。また、作業軽労化により漁業者の離職を防ぐことで、地域に働き手をつなぎ留める効果もあった。			
	（３）所見	本施設整備により漁業者の作業軽労化及び経費削減が図られ、計画どおり地域内での給油施設が集約化されたこともあり、地区漁業者全体での利用がなされ、成果目標を達成した。廃業に起因するやむを得ない減船により利用隻数の減はあったものの、残りの漁船において適切に活用されている。したがって、本施設の整備は適正であった。			
	（４）評価機関の意見等	（評価機関等の評価を受けた場合に記入）			
今後の改善方向等に関する分析		整備施設は適正に利用されており、当初計画以上の成果が見られている。漁協は、繁忙期の混雑緩和のため適宜利用調整を行いつつ、引き続き地域内全漁業者の利用を促進しコスト軽減を図るとともに、新規漁業者の就業支援等により漁業者及び漁船数の増加に努め、利用率の維持を図る必要がある。			